

(別添2)

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 保育所

第三者評価の判断基準

事業所名（施設名） ポピンズナーサリースクール軽井沢風越

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
A	1 保育内容	(1) 全体的な計画の作成	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a)	1 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。 2 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。 3 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。 4 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。 5 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。	○基本原理として児童福祉法にもとづき、こどもの最善の利益を考慮する事や、保育所保育指針に即した保育を行う事が全体的な計画に明記されています。 ○保育理念・保育方針・保育の目標にもとづき、教育及び保育に関する全体的な計画が作成されています。 ○全体的な計画は、こどもの発達過程、家庭や地域との連携などを考慮して作成されています。 ○全体的な計画は、期ごとに評価・反省をして、4期で振り返りを行い、次の作成に生かしています。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b)	■ 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。 ■ 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。 ■ 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。 ■ 9 内装等には、木材を利用している。 ■ 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。 □ 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。 ■ 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。	○ISO業務マニュアル「施設環境」の手順に則り、衛生管理（清掃・消毒・プール）を実施しています。 ○園舎は新築3年目で、内装や家具には木材が多用されています。0・1歳児以外のクラスは部屋の出入口にドアが無く、こどもが自由に行き来して、異年齢で関わり合い活動しやすい空間を作っています。 ○家具や用具は落ち着いた色彩で統一されており、不要な物が目に入らないように収納家具の設備があり、整然とした空間が保たれています。 ○午睡の際は、こどもの表情が見やすいように照明を60ルクスに設定しています。全館床暖房で裸足保育をしています。夏場は、暑さ指数計により、温度・湿度を確認して、その日の活動を配慮しています。 ○扉が無い部屋や上部が空間の部屋があり、園舎内に音が通って響きやすく、静かに落ち着ける時間の確保には配慮が必要と思われます。活動によって扉のある部屋を使ったり、声の大きさに配慮するなどの工夫や努力をされていますが、食事や午睡時も配慮が必要と思われます。 ○手洗い場やトイレは明るく清潔で、こどもが利用しやすい設備が整えられています。おむつ交換専用の部屋があり、安全や衛生への配慮が行き届いています。
			② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b)	■ 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。 ■ 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。 ■ 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。 ■ 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。 ■ 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。 □ 18 せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。	○気持ちの切り替えが難しいこどもなどへの対応では、静かな場所に移動して1対1で向き合い、こども自身が気持ちを表現して整理して落ち着けるようにサポートしています。 ○こどもに話しかける際は、こどもの目線に合わせて落ち着いて優しいトーンで話しかけるように意識されています。 ○せかす言葉や制止させる言葉を不用意に用いない事を心掛けて取り組まれています。が、今後も、日々の対応について職員間での振り返りや学び合い等により、更に意識の向上に向けた取組を期待します。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a)	■ 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。 ■ 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。 ■ 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。 ■ 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。 ■ 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。	○毎月、職員会議でこどもの状況と援助について話し合っています。 ○一日の生活の流れを分りやすく伝えて、次の活動に気持ちが向けられるような声掛けを工夫しています。 ○室内遊びや外遊びの選択など、一人ひとりのこどもの状態に応じて対応しています。 ○おむつ替え・トイレへの誘導は、個々にこまめに行い、排泄の習慣自立への方向付けをしています。 ○午睡時は清潔なお昼寝マットを園が用意して使用し、一人ひとりの生活リズムに合わせた睡眠時間をとれるように配慮しています。
			④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b)	■ 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。 ■ 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。 ■ 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。 ■ 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。 ■ 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。 ■ 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。 ■ 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。 ■ 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。 □ 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。 ■ 33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。	○ボビズアプローチを実施し、こども達が興味関心を持っているものを見極め、個々に合った発達を促すことに努めています。 ○園庭での遊びの環境を整え、自分のやりたい遊びを思い切りできるようにしています。園庭の土手の坂を利用して登り降りを楽しんでいます。 ○室内でも、毎朝リトミックを行うなど、体を十分に動かせる遊びを取り入れています。 ○異年齢でのリズム遊びでは、自己表現と同時に友だちの動きを見ながら相互に影響し合う様子を大事にしています。 ○園庭の畑やプランターで野菜を栽培して生育の様子を見たり収穫体験をしています。近くの公園に散歩に出かけて自然物を採取して遊びに使用しています。 ○地域の人たちに接する機会や社会体験が得られるような機会を設ける取組を期待します。 ○製作活動の形は決めず、描画活動では、絵の具を用いて、手足、筆やスポンジなど、様々な選択肢から自分で選び、ダイナミックに表現するボディペインティングを様々な場所で行うなど、日頃から自由に表現することを促しています。 ○月ごとの『アート』のテーマを決めて活動を用意し、多様な素材に触れて新たな表現方法に挑戦したり、自分なりの形を創造することを繰り返すプロセスや経験を通して、一人ひとりの個性を認め合う事を大切にしています。（エディケアプログラムにより「個性」を伸ばすプログラムを実践しています）

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	■ 34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。 ■ 35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係（情緒の安定）が持てるよう配慮している。 ■ 36 子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。 ■ 37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。 ■ 38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。 ■ 39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。	○毎日、わらべ歌遊びやふれあい遊び（ベビーマッサージ等）を積極的に取り入れて行っています。 ○時間に余裕を持ち、ゆったりとした関わりによる関係作りに心掛け、子どもの顔を見て名前を呼び、視線を合わせて、動作に言葉を添えて声をかけています。 ○食事は、個々に応じて量を把握して無理せず、手づかみ食べ等、自分で食べようとする意欲を大事にして介助しています。 ○保護者とは送迎時の会話やアプリのメモリーで、こどもの生活やあそびの様子等のエピソードなどを細かく連絡して共有することを心掛けています。 ○0歳児室には看護師が加配として入っています。
			⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	□ 40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分で行おうとする気持ちを尊重している。 □ 41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。 □ 42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 ■ 43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 ■ 44 保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。 ■ 45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。 ■ 46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	○こどもが自ら行おうとする声掛けや対応を心掛けてはいますが、援助の際に手を出しすぎてしまう場面もある様子です。個々の発達状況に合わせた適切な援助の方法や関わり方について、職員間で振り返り研修し合って取組まれることを期待します。 ○探索活動が十分に行えるような保育については安全への配慮について努力されていますが、人員配置や環境的に難しい面も多いようですので、今後の工夫に向けた取組を期待します。 ○リズム体操で体作りに心掛け、発達に応じておもちゃの入れ替えを行い、環境を設定して遊びに誘いかけています。 ○異年齢の友だちと交流しやすい園内の構造環境なので、関わり合いがたくさん見られます。 ○保護者には園からの写真や動画のこまめな配信で、保育やこども達の様子を知らせています。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a)	■ 47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 ■ 48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 ■ 49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 ■ 50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	○各年齢クラスの発達に合わせて月ごとのテーマに沿った遊びなどが展開されており、それを軸に個々のこどもの興味や関心に応じて活動し、異年齢でも活発に関わって活動に参加している様子が見られ、こどもの作品が所々に飾られていました。 ○多目的室では色々なあそびのコーナーができており、自由に関わり合いながら遊ぶ様子が見られました。 ○5歳児は毎朝のサークルタイムで、一人ひとりがみんなの中で意見を言う場を用意して活動について話し合い、相談する機会を設けています。こどもが主体となり、縄跳びや服の染色め等の活動を行っています。 ○朝夕の対面での保護者とのやり取りの際にも子どもの育ちや共同的な活動等について知らせています。
			⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	□ 51 建物・設備など、障がいに応じた環境整備に配慮している。 ■ 52 障がいのある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。 ■ 53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 ■ 54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 ■ 55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 ■ 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 □ 57 職員は、障がいのある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 ■ 58 保育所の保護者に、障がいのある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	○配慮の必要なこどもについては、個々の発達過程や状態の把握に努め、他のこどもの生活を通じて、共に成長できるように配慮しながら園生活が楽しめるように、家庭や関係機関と連携した相談支援を行っています。 ○あらゆる障害に応じた環境整備や対応・配慮については更なる取組を期待します。 ○様々な障害のあるこどもの保育に関する職員の研修についての更なる取組を期待します。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	■ 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 ■ 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 □ 61 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。 ■ 62 年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。 ■ 63 子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 ■ 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 ■ 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	○長時間にわたる保育については、一人ひとりの発達や身心の状態に配慮しながら、家庭と連絡を取り、職員間の協力体制と正確な情報の伝達を通して安心して過ごせる環境と保育の保証に努めています。 ○落ち着いて過ごせるように部屋を確保し、自由に出入りできるようにしています。 ○家庭的でゆったりと過ごせる環境や子どもの状況に応じた適切な配慮への更なる取組を期待します。 ○18時30分以降に在園することもには夕食補助食を提供しています。
			⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b)	■ 66 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 □ 67 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 □ 68 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。 ■ 69 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 ■ 70 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。	○「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」(10の姿)の育ちを全体的な計画にも明記して、それにもとづき意識した保育を行っています。 ○地元の小学校とは立地的に距離があり、こども同士の交流を持つ事は難しい状況があります。こどもや保護者が小学校以降の生活について見通しを持てるような機会の工夫や取組を期待します。 ○小学校との連携会議等で小学校教師との意見交換や合同研修の機会を設けています。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(3) 健康管理	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a)	■ 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 ■ 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 ■ 73 子どもの保健に関する計画を作成している。 ■ 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 ■ 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 ■ 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 ■ 77 職員に乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 ■ 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群（SIDS）に関する必要な情報提供をしている。	○保健業務マニュアルに則り、園児・スタッフの健康・衛生管理を実施しています。 ○健康状態、発育発達状態の定期的、継続的把握を行っています。年2回の嘱託医による内科健診、耳鼻科検診、歯科検診を行っています。全体的な計画にもとづいて保健計画を作成しています。 ○異常が認められた時には適切な対応をして、速やかに保護者と連絡を取り対処しています。 ○午睡時は、こどもの状態を確認して3歳未満児は5分ごとにプレスチェックをしています。
			② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a)	■ 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。 ■ 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 ■ 81 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	○計画的に健康診断が行われ、関係職員に周知しています。結果を保護者に伝え、適切な対応についての啓発を行っています。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a)	■ 82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 ■ 83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 ■ 84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 ■ 85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。 ■ 86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。 ■ 87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。	○アレルギー疾患のある子どもに対しては医師の診断書にもつき保護者と密に連絡を取り合って適切な対応を行っています。 ○除去食の提供の際には、職員が必ず2人以上でチェックして間違いが無いように確認して提供しています。 ○食事は個別のトレイで配膳し、除去食については個別のプレートをつけています。 ○乳児はアレルギー食対応のエプロンで提供しています。
		(4) 食事	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b)	■ 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。 ■ 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 ■ 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 ■ 91 食器の材質や形などに配慮している。 □ 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。 ■ 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。 ■ 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。 ■ 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	○全体的な計画にもとづいて食育計画を作成しています。 ○食器は陶器を使用して食事を提供し、喫食の際に温かさや重さを感じられるようにしています。 ○年齢発達に応じた食事の提供マニュアル順守の為、個々の食事量に応じた対応が難しいとことでしたが、個々の状況に応じた量の加減等の取組の工夫を期待します。 ○食に興味や関心を持てるように発達に即した食育活動を計画して、毎月栄養士が実地しています。食育活動でのこども達の様子を写真にコメントを付けて発信したりプリントして園内に掲示したりして保護者に知らせています。 ○毎日の献立の写真をアプリで保護者に配信しています。こども達に人気のメニューは月に、2品程度のレシピを保護者に配信しています。 ○必要に応じて、園だよりに看護師からのお知らせのコメントを掲載して発信し、朝食の大切さと簡単な取組などについて知らせ、食について家庭との連携に努めています。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			② 子どもがおいしく安心して食 べることのできる食事を提供 している。	b)	■ 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 ■ 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 ■ 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものとしている。 ■ 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 ■ 100 季節感のある献立となるよう配慮している。 □ 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 ■ 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 ■ 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	○本社食育チームによる工夫された献立で、手作りの食事を提供しています。 ○特別食への対応をしています。(アレルギー児への除去食、体調不良時の変更食、宗教上の除去食) ○発達状況に応じて、食材の形や大きさや柔らかさなど調理の工夫をしています。 ○多文化理解教育と歩調を合わせた献立で、毎月1回世界各地の食事を提供しています。季節感のある行事に合わせた献立を取り入れています。地域の行事食については今後の取組に期待します。 ○毎月の食育活動で栄養士がこども達と関わりを持っています。 ○衛生管理の体制が確立され、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われています。
	2 子育て 支援	(1) 家庭との 緊密な連 携	① 子どもの生活を充実させるた めに、家庭との連携を行って いる。	a)	■ 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 ■ 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 ■ 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 ■ 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	○送迎時に保護者は園舎内に入り、各クラスの担任と対面して日常的な情報交換を行っています。園からはドキュメンテーションや動画配信にて保育の様子を伝えています。 ○3歳未満児は「マイページのポピンズメモリー」に個別に必要事項を毎日入力して家庭と連絡を取り合っています。3歳以上児は、「掲示板」にて連絡をしています。 ○毎月、ニュースレターを「マイページ」に掲載して、月の行事予定や保育内容・保育の意図などを知らせています。 ○園舎内の壁に、保育活動の写真やコメント入りのプリントを掲示して、こども達の様子を知らせています。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 保護者等の支援	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a)	■ 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。 ■ 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。 ■ 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。 ■ 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。 ■ 112 相談内容を適切に記録している。 ■ 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	○朝夕の送迎時に、対面でのコミュニケーションを大事にして保護者との信頼関係を築くように心掛けています。 ○保育士はドキュメンテーションという記録を使って、こどもの育ちを保護者と共有しています。 ○個人面談での相談や保育参観についても随時受け付けています。 ○保護者からの相談には園長も保育士と一緒に対応しています。
			② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a)	■ 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 ■ 115 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 ■ 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。 ■ 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。 ■ 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。 ■ 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。 ■ 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	○日常的にこどもの身心状態を観察し、不適切な養育や虐待の早期発見、早期対応、発生予防に努めています。 ○虐待等権利侵害が疑われる場合には、本社とも連携して対応を協議する体制があります。 ○虐待防止の措置として、①人権の擁護、虐待の防止に関する必要な体制の整備、②スタッフによる虐待行為の禁止、③虐待の防止、人権に関する啓発のためのスタッフに対する研修の実施を行っています。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
	3 保 育 の 質 の 向 上	(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b)	■ 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り（自己評価）を行っている。 □ 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 ■ 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 ■ 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 ■ 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 ■ 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	○業務の質の評価について、全スタッフが年に1回の定期的な自己評価を行い公開しています。自己評価にもとづき話し合いを実施して質の向上に努めています。 ○3年に1回、福祉サービス第三者評価を受審し公表する予定です。 ○保育士の経験年数等により自己評価の取組内容や結果にバラつきや課題があるとの事でした。園内外の研修等により、自己評価を基にした職員相互の学び合いや実践などで、保育所全体の資質向上への取組に期待します。